A飼料

畜産用 プロバイオティクス

腸菌力－M2



主な特長・効能

1. 腸内環境改善による**免疫力の向上**が期待できる
2. 整腸作用により**下痢・軟便の改善効果**が期待できる
3. 消化促進により**飼料の採食量向上**が期待できる
4. IGF-1*の生成促進により**発育向上**が期待できる

*=インスリン様成長因子-1（細胞の成長・分化などを促進するインスリンとよく似た構造を持つタンパク質分子）



西日本産業株式会社

フリーダイヤル 0120-545-541

〒876-0045 大分県佐伯市上岡1237-1

https://www.nnsg-saiki.com

URL

販売代理店

製　品

サイズ：1kg／5kg／10kg／20kg（正味重量）
1kgはポリ容器、5kg以上はバックインBOXタイプ・
蛇口取付式

給与量

1頭当り 10g／日
※治療後の回復などには、増量・朝夕の投与



腸菌力－M2
【容量】1kg／5kg／10kg／20kg

子牛への効果

◆腸内環境の改善と免疫力の向上に効果があります
◆IGF-1（成長因子）を体内で生成することで、健康と発育に良い効果があります

使用方法
- 生後4～5日から使用可能
- 人工ミルクの場合は、ミルクに入れて投与
- 親付け及びロボット哺乳の場合は、餌にかけるか経口投与

母牛への効果

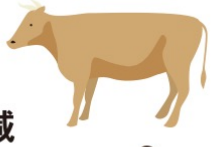
◆母牛の健康管理と受胎率の向上
◆IGF-1の効果により受精卵を採卵した場合の質の向上
◆下痢や体調不良で治療を受けた後の投与により、回復効果が向上



使用方法
- 餌にかけるか経口投与
- 分娩前約2ヶ月⇒　分娩　⇒　受胎までの間

肥育牛への効果

◆IGF-1（成長因子）による増体効果と免疫力向上
◆麹菌が生成する酵素の働きにより、脂質の向上
◆肥育後期に投与することで、肉質の向上と内臓廃棄率の軽減
⚠ 経産牛肥育においても増体及びオレイン酸等の資質の向上





使用方法
- 餌にかけるか経口投与

乳牛への効果

◆猛暑などによる乳量低下の軽減
◆IGF-1（成長因子）による免疫力向上で乳房炎の軽減と乳質の維持

使用方法
- 餌にかけるか経口投与



畜産の安心・安全と品質向上へ貢献いたします。